

46 岡山県玉野市における「はげ山」森林復旧

岡山県（玉野市）



荒廃状況（昭和25年頃）



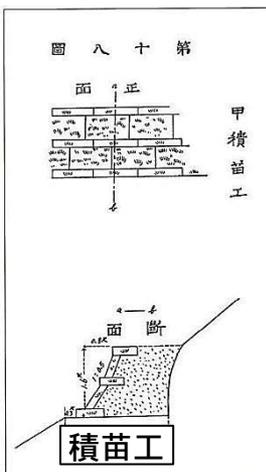
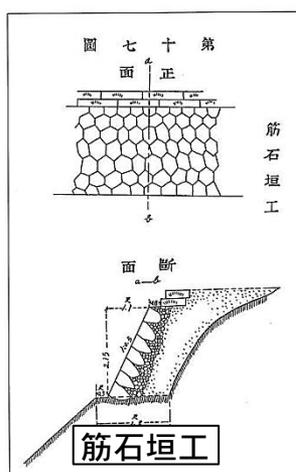
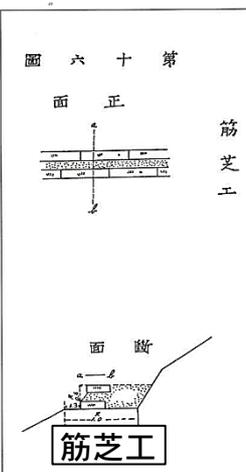
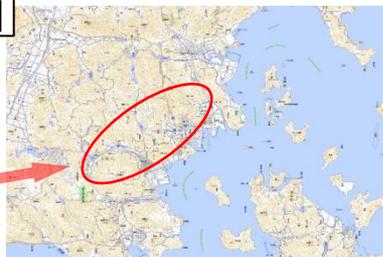
施工状況（昭和28年頃 階段切付）



現在の状況



位置図



○所在場所

岡山県玉野市

○施設・工法の概要

土堰堤工、練積谷止工、積苗工、石筋工、階段切付、張芝水路工、実播工、植栽工など

○解説

岡山県玉野市は、瀬戸内海式気候に属し、平均気温15℃、年間降水量1,000mm前後と雨が少なく、地質は大部分が風化の進んだ花崗岩であり、ひとたび植生が失われると自然の力だけでは再生されません。

こうした悪条件に加え、戦中・戦後の森林伐採により、ほとんどの森林がはげ山となっていました。

そこで、森林を復旧するため、昭和22年から玉野市の請負による県営治山事業が始められました。この施工形態は全国的にも珍しく、市及び地元の受け入れ体制が整っていたことを物語っています。その後も、国、県、市が一体となり復旧工事が進められました。

当時、緑化工として施工した積苗工は、いくつかのパターンで標準断面が作成され、当時の緑化工には欠かせないものとなりました。

こうした先人の長年の苦勞と森林復旧への思いが実り、現在では荒廃森林はほとんど見られないようになりました。